

# 明大生のライフスタイル

～先輩たちはこんな学生生活の工夫をしています～

4月10日からは、いよいよ授業が始まります。大学の授業は高校までとは大きく変わるので、少し不安ですね。

“時間割を自分で組むってどうやるの？”

“レポートの課題ってどんなものだろう？”

“単位を取るってどういうこと？”

“サークルにも入ってみたいし、アルバイトも始めたい…

勉強とどうやって両立するんだろう？”



新入生のみなさんの中には、まだまだ大学での生活のイメージがわからない方も多いのではないのでしょうか。

さらに新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、2023年度は対面授業が全面的に実施され、一部の科目ではオンライン形式の授業も実施されました。

次ページ以降に、昨年度1年生だった先輩たちの学生生活で工夫したことなどについて触れた「1年生のライフスタイル」や、卒業後の進路が決まっている上級生が1年次にどのように学生生活を送っていたかについて書いた「1年生のライフスタイル～上級生編～」を掲載しました。

ぜひ参考にして、自分自身のこれからの学生生活を思い描いてみてください。

また、アルバイトを始めるときに注意したいポイントもコラムにまとめました。併せて参考にしてください。

# 1年生のライフスタイル

## プロフィール



Yさん

文学部 1年@和泉

課外活動：アニメ・声優研究会

アルバイト：プライダル

## ◆上京組でも心配しすぎないで

私は地方出身で、しかも明治に来た友達もいませんでした。そのため、学校面だけでなく、友人関係やアルバイトなど、何もかもが一からのスタートで入学前は心配なことばかりでした。ですが、SNS で明治の情報を探したり、

それぞれのサークルの投稿を調べてみたりして情報収集をし、少しずつ不安を解消していきました。

友人関係は、入学後の専攻全体で集まった時に近くに座っていた子や、第二外国語の選択が同じだった子と話す中で広げていきました。初めはみんな不安なことがいっぱいですし、上京組も意外といます。恐れずに話しかけてみれば意外とすぐに仲良くなれると思います。せっかくの大学生活、学校の話以外にも趣味の話なども出来る友人をたくさん作って新生活を楽しんでください！

## ◆履修登録は自分の興味と情報収集を大切に！

履修登録は入学後あまり日付を空けずに行われます。ですが、必修科目と選択科目、単位数や授業内容の確認などやるのがたくさんあります。そのため、シラバスや便覧などをしっかり読み、自分が興味のある科目を取り逃さないようにしてください。また、私の専攻の必修科目には抽選で担当の先生が決まるものがあり、加えて英語などの外国語科目は、TOEIC などの事前試験の成績で先生が決まるものもあるので、受験英語を復習し、準備をしっかりとっておきました。コロナ禍以降、オンライン授業が増え、自宅でオンデマンドの授業を見ることが出来たので、それらを有効活用することで単位の上限まで履修しつつも毎日の学校での負担を減らすことが出来ました。皆さんも自分の体力や生活スタイルと照らし合わせながら時間割を組んでくださいね。

## ◆1年次の時間割（上段は春学期・下段は秋学期）

	月	火	水	木	金
1時限	中国語 I A	表現・創作IA サブカルチャー研究	環境社会学	文化人類学A	ウェルネスライフ論
	中国語 I B	表現・創作IB		文化人類学B	
2時限			ウェルネススポーツA	English Communication Skills A (Adv.)	基礎演習(文芸メディア)A
	知覚・認知心理学	日本文学講義IB	ウェルネススポーツB	English Communication Skills B (Adv.)	基礎演習(文芸メディア)B
3時限	政治学概論		日本文化発信A	文芸メディア概論A	日本文学講義IA
				文芸メディア概論B	
4時限	English Paragraph Writing A (Adv.)			中国語 II A	芸術学A
	English Paragraph Writing B (Adv.)		日本文学史	中国語 II B	芸術学B
5時限					

※黒字は必修科目、オレンジ色は自分で選択した科目。

※サブカルチャー研究、日本文化発信A、文化人類学A・Bはオンライン受講できる科目。

## プロフィール

Fさん

法学部1年@和泉

課外活動：法学会・法律相談部・

ラグビーサークル

アルバイト：塾講師



## ◆大学は勉強だけじゃない！

大学では目標を定め、達成のために主体的に行動することが重要です。私は法学部に入った時に検察官になろうと決めました。そのため1年次から予備校で司法試験対策を進めることはもちろん、法学会が主催する「最高検察庁見学会」や「法律討論会」に出席し、実

際に検事から仕事内容や司法試験の話をお聴きするなど、主体的に行動してきました。

大学とは自分の目標に向けて徹底的に突き詰められる場所だと思います。私の周りには、スポーツで結果を出すことや留学に向けて勉強をするなど、いろいろな目標を持った友人がいます。皆さんもぜひそういった目標を見つけて、行動に移してみてください！

## ◆目標を定めて主体的に行動すること

大学では高校と違い、自由に履修を組むことができます。私は3、4年次には就職活動や司法試験で忙しくなることを見越して、1年次でなるべく多くの単位を取るよう履修登録をしました。

また、私は必修科目が週の前半に集中していたため、週の前半は空きコマを無くすよう授業を入れ、週の後半ではなるべく授業を減らし、自分の時間を取れるように工夫をしました。その結果、週の前半は大学の授業に集中し、後半では司法試験の勉強をしたり、アルバイトをしたりすることができ、大学と課外活動の両立ができたと思います。

## ◆1年次の時間割（上段は春学期・下段は秋学期）

	月	火	水	木	金
1時限	刑法(総論) I	初級中国語A I	憲法(人権) I		日本近代法史 I
	刑法(総論) II	初級中国語A II	憲法(人権) II		日本近代法史 II
2時限		基礎運動実習 I		English B I	
		基礎運動実習 II		English B II	
3時限	English A I	日本文化A I (日本語の世界)	日本文化B I (日本の歴史と文芸)		法律リテラシー(M)
	English A II	エネルギーと環境 II	日本文化B II (日本の歴史と文芸)		
4時限	法学部生のための 日本語 I	民法(総則) I		生命と人間 I	初級中国語B I
	法学部生のための 日本語 II	民法(総則) II		生命と人間 II	初級中国語B II
5時限					

※黒字は必修科目、オレンジ色は自分で選択した科目。

## プロフィール



Kさん

農学部 1年@生田

課外活動：バドミントン

アルバイト：書店・催事

## ◆実りある期間にするために目標を持つ

大学とは本当に自由で、『人生の夏休み』とも言われますが、何もしないと、すぐに終わってしまう『実りのない夏休み』となります。そこで、目標を決めましょう。私は「1年次に色々なことを経験する」という目標を立て、『Meiji Job Trial』というインターンシッププログラムに応募を

しました。そこでは、化学系の企業での営業業務や種苗を扱う企業で実際に品質管理をする現場に立ち会うなど、色々な経験ができた他、実際に社会人の方々と仕事をするため、社会人としてのマナーや考え方も学ぶことができました。

1年次にこういった経験ができたことは、今後の学生生活や卒業後に社会に出るにあたって大きなプラスになったと思います。皆さんは大学でやりたいことはなんですか？ぜひ自分の目標を作って何かに取り組んで、大学生活を思う存分に楽しんでください！

## ◆自分に合った時間割を

履修登録は自分で考えることも重要ですが、色々な人にアドバイスをもらうことも必要です。私は入学前には大学のHPで授業の情報を集めました。入学後は本学内の新入生歓迎活動のイベントに参加し、同じ学部・学科の同級生や先輩とも積極的に情報交換をしました。特に私の学科は、「専攻科目」や「総合科目」の選択必修科目の選択肢が多く、自由度が高い反面、履修をし忘れるなど、ケアレスミスが多いので、そこでお互いに履修の内容をチェックし合えたのは本当に良かったです。

## ◆1年次の時間割（上段は春学期・下段は秋学期）

	月	火	水	木	金
1時限	生物学基礎			植物生命科学	中国語 I a
		スポーツ実習 II	英語 III		中国語 I b
2時限	動物生命科学	中国語 II a	化学要論		英語 I a
	細胞生物学	中国語 II b	日本の歴史B	生物有機化学	英語 I b
3時限	生命科学実験 I	スポーツ実習 I	ICTベーシックI(M)	微生物学 I	生命科学実験 I
	生命科学実験 II	遺伝学		生化学I (生体成分・酵素)	生命科学実験 II
4時限	生命科学実験 I		日本の歴史A	分子生物学入門	生命科学実験 I
	生命科学実験 II	健康科学	ICTベーシックII(M)	英語 III	生命科学実験 II
5時限					

※黒字は必修科目、オレンジ色は自分で選択した科目。

# 1年生のライフスタイル～上級生編～

## プロフィール



**Kさん (大学院進学予定)**  
**総合数理学部 4年@中野**  
**課外活動：なし**  
**アルバイト：食品関係**

## ◆大学院進学に活かしたこと～作品制作課題に注力したことのでられたもの～

入学当初から大学院進学を決めていたわけではありませんが、3・4年次に時間を確保し、どの進路にも対応できるように1年次はなるべく多く履修することを意識しました。実際に、そこで多くの講義を

履修したことが、結果的に専門科目やその周辺分野の視野を早いうちに広げることにつながりました。また、一部の講義や1年次のゼミは週替わりで担当教員が変わる形式であり、アプリ開発や音声処理などテーマに富んだ内容に触れることができました。講義で出された課題を丁寧に取り組むことで、将来の自分が所属する研究室の方向性を考える良い機会となりました。そこでアイデア出しから完成まで試行錯誤した経験が、課題に対する解決策を模索する粘り強さや、手法を練り直すために舵を切る力につながったと思います。

## ◆課題に全力を出し、能動的に学ぶ

課題や小テストは授業日中に終わらせることを意識し、土日は学業以外のことにも打ち込めるようにしました。空きコマには、課題やレポートを終わらせていたほか、プログラミングの講義が予習を重視していたため、授業資料を読み込むことに時間を割いていました。その分当日の課題が早く終われば、残りの時間を応用演習や自由時間に充てることができました。自由時間には、講義や教授のSNSがきっかけで興味を持った話題を検索することも度々ありました。大学に入ると同学年の人口層が広がることで自分が考えたこともないような世界に挑んでいる人も多く見受けられるため、時折無力感を抱くかもしれません。しかし、課題等に全力を出し、興味のある分野を能動的に学んだ経験は自らを力強く支えます。振り返ってみると、そのような経験をするために情報収集を行いつつ手を動かしているときに充実した時間だったと感じます。

## ◆一週間の生活パターン (1年次)

	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
月	授業	自習	授業	授業	自由時間	
火	自習	授業	課題	授業	自由時間	
水	授業	自習	授業	授業	自由時間	アルバイト
木	授業	課題	自習or自由時間		授業	自習or自由時間
金	授業	授業	自由時間	授業	授業	課題or自由時間
土	自由時間				アルバイト	
日	自由時間					

## プロフィール

**Kさん (公認会計士合格)**  
**商学部 4年@駿河台**  
**課外活動：経理研究所**  
**アルバイト：飲食店・**  
**資格予備校のTA**



## ◆公認会計士試験合格を目指して

私は入学時から簿記を学び始め 3 年生で公認会計士試験に合格しました。コロナ禍で大学の授業はオンラインで勉強仲間ができず、成績が上がりませんでした。しかし、経理研の自習室に通い始めてからは友人もできモチベーションを維持することができました。1 年生ではしっかりと基

礎固めを行うことを強くお勧めします。合格者が定期的に自習室で質問対応を行う機会もありますので、気軽に相談してみてください。

勉強時には「考える勉強」を意識していました。具体的には、演習を受けた際には「なぜこの問題を間違えたのか？ケアレスミスが減らすための方策とは？」を毎回考え分析していました。テキストも「人に説明するとしたらどう説明するか」という姿勢で読み込んでいました。

## ◆合格に向けて毎日規則的にコツコツと！

1 年生では、経理研の計算基礎夏クラスに所属し、会計士と大学の勉強を効率的に行うことを意識していました。たとえば、通学中の電車内では、テキストを読み込んだり、空きコマを宿題の勉強にあてたりする等、毎日規則的にコツコツ継続することに努めていました。会計士試験は範囲が膨大で、この勉強方法が精神的にも成績的にも良いと考えたからです。

会計士試験は大学生生活の大半を勉強に費やさなければならず、相当な覚悟も当然必要です。しかし 4 年生では経理研のプログラムを活用して、フィリピンの会計事務所でインターンシップを経験することができました。国内の一般的なものとは異なり、1 人のプロフェッショナルとして、実際の資料を用いて監査業務を経験することができました。語学力だけでなく、海外で働くことができる力を養えるような経験は他ではなかなかできないと思います。

## ◆一週間の生活パターン (1 年次)

	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	
月	授業	授業	昼食	授業	授業	自習	
火	授業	自習	昼食	自習		経理研授業	
水	自由時間	授業	昼食	自習		自由時間	
木	自由時間	授業	昼食	授業	授業	自習	経理研授業
金	授業	授業	昼食	自習	授業	授業	自習
土	授業	自習		アルバイト		自由時間	
日	アルバイト			自習		自由時間	